



なんぶ

議会だより

第39号

平成26年6月議会

発行 平成26年8月1日

まぶ
緑が眩しい
霜害の柿畑

- 6月定例議会…………… 2
- 一般質問ダイジェスト …… 3
- 陳情・請願の審査結果…… 6
- 行政調査報告…………… 7
- 議会活動日誌…………… 7
- あとがき…………… 8

一般質問ダイジェスト

6月議会一般会計補正予算

すみれ保育園新築事業・コミュニティ助成事業等 2億2,013万1,000円の補正予算を可決

主な事業

★すみれ保育園新築事業
……1億6,828万円

電気・機械整備工事 建築確認申請費用等

質問

「緑の産業再生プロジェクト」以外の補助金はなかったのか。

回答

支援センターに対する補助金はあったが、「緑の再生プロジェクト」の方が条件がよかった。



★結婚支援事業……19万円

少子化対策を反映させるため同窓会を町内で開催した場合、経費の一部を補助する事業



★コミュニティ助成事業……480万円

上阿賀区（公園広場に遊具の設置）、御内谷区（公民館に災害時関連備品の設置）への設備等の整備を図る事業

質問

毎年この事業の補助が町にあるのか。

回答

申請を出しても県にも事業の枠があり町に毎年補助が実施されるものではない。

★なんぶ町民花火大会……100万円

合併10周年を記念し従来寄付金のみでおこなっている花火大会へ補助金の交付

質問

例年どのぐらいの予算でおこなっているのか。又、参加者の数は。

回答

25年度は全額寄付で約250万円。参加者は5,500名ぐらい。

反対の意見

10周年記念事業として花火への補助が計上されているが、費用対効果が不確実、安易な補助はすべきではないと考え反対する。

賛成の意見

33の事業がある。それぞれの事業は町民生活にとって必要である。花火大会も町内外から楽しみにされているイベントであり賛成する。

予算・決算常任委員会の意見

一般会計補正予算にすみれ保育園新築事業として、工事請負費が1億9,415万8,000円計上されている。この工事費の内容は、電気設備工事、機械設備工事、プール設置工事、構内付帯工事である。

3月議会で示された26年度の当初予算でこの工事費は計上すべきであった。

（3月議会では建築費4億3,092万6,000円が予算として計上されている。）

財源の確保、工事の発注時期等、単なるミスではすまない問題も生ずると考える。事業に対しては十分な精査をし、予算の計上をすべきであるとの意見を付した。

小・中一貫教育

杉谷早苗議員

Q 取り組みの現状を問う

A 一環する教育課程の充実を図る

教育長



杉谷 教育振興基本計画が策定された。このような小・中一貫教育の取り組みも進められており、折に触れ質問もしてきた。改めて取り組みの状況を問う。

9年間のスパンの教育活動を展開していくことを狙いとしている。義務教育六・三制の学制変更を伴う小・中一環については教育特区としての実施が認められているが、本町では当面、区分し直すのではなく、まずは滑らかな接続のための系統性を重視したいと考えている。

具体的には授業の相互参観や小・中連携推進の研修会、教科ごとの情報交換等を行いながら、一貫する教育課程の充実に取り組んでいる。また、小・中間での教員人事交流により新しい発見があり、

○その他の質問
あいのわ銀行

柿・梨の霜害

米澤睦雄議員

Q 町の積極的な支援を

A 県の制度に上乗せを行う

町長

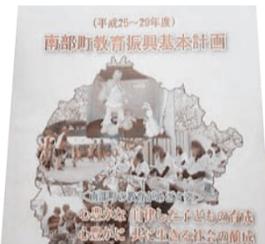


米澤 4月15日発生の降霜被害に見込まれる農家の緊急除去に10a当たり1300円を助成する。町は、昨年のひょう害のときと同様にこの制度に上乗せを行い、農家の負担軽減を予定している。また、3割という

極的な指導・支援をお願いしたい。県は3割以上の収量減が見込まれる農家の緊急除去に10a当たり1300円を助成する。町は、昨年のひょう害のときと同様にこの制度に上乗せを行い、農家の負担軽減を予定している。また、3割という一つの区切りがあるが、農家の個々の実情を聞いて対応していきたい。現在、県では、燃焼法や防霜ファンを設置など、霜対策に関する施設などの導入についてある。町も、県が示す対策と協調しながら被害を受けた農家への支援を進めたい。

○その他の質問
公民館の運営について

教育長 教育の目的として、中一ギャップの未然防止は当然だが、小・中学校間の教職員の人的交流を促進し、相互の学力観や指導観、評価観の共有化を図るとともに、相互の違いを認め合い、学びあ



南部町教育振興基本計画

町からの支援をお願いしたい。また、3割未満の収量減でも経営面積が大規模な農家には支援が必要である。来年度以降も霜害の可能性が見込まれるが、霜害を少なくする対策としての施設整備等の積



実付きの悪い柿の木

災害対策

白川立真議員

4

Q 危機管理体制は

A 人命最優先を念頭に

町長



近年は、異常気象による豪雨災害や地震災害の被害が顕著である。当町において、一定規模以上（震度六弱以上）の地震が発生した場合、人命救助の手段としてどのような策を考えているか。また、豪雨災害において、町民への避難周知はどのように行うか伺う。

対応ができない事も予想されるため、県内外自治体との相互応援を締結しており、被災者の救出や飲料水・食料などの供給体制を図っている。さらに防災機関、自衛隊などに対して応援要請を行い、迅速的確な災害時対応を図る。

町長 大規模地震が発生した場合、人命最優先を念頭に、全職員をもって対処を行う大規模地震体制をとる。また町単独では十分な

豪雨災害については、気象庁の発表する大雨警報や数十年に一度の降雨量が予想される特別警報などの情報を基に、



水道料金

植田均議員

Q 一般会計の繰り入れを求める

A 財政の安定と町民負担を考慮し検討

町長



現時点で簡易水道に対し、一般会計からの繰り入れを考えているのか。

また、水道事業会計に対し一般会計からの繰り入れをすることに国、県の理解が必要との答弁だが、根拠法があるか。

地方公営企業法第3条で法律の目的を、住民福祉の向上としている。この目的達成のため会見地域の料金に統一すべきだ。

一般会計からの繰り出しについては、町単独で行う場合何らかの枠組みを設ける考えだ。料金統一に向けた審議に合わせて検討したい。

地方公営企業法第17条の2では、その性質上企業の経営に伴う収入をもって充当することが適当でない。財政安定と町民の負担を考慮し検討する。



上野調整池

少子化対策

景山浩議員

Q 町独自の工夫は

A 数値目標を掲げて取り組む

町長



「日本創世可能性市町村を公表した。わが南部町も2040年には出産適齢女性の人口が現在より半減し消滅の可能性ありとのことだった。

南部町の人口は本年3月の1万1441人から2025年には9665人まで減少することが予測されている。その原因は出生数の減少であることは明らかであり、昨年7月にプロジェクトを立ち上げ結婚支援、出産・子育て支援、暮らしやすさ支援の3つを柱に19事業を立案した。年間の出生数を2012年の68人から20人増やす数値目標を掲げた。

ページ、新聞広告や県の相談会など様々なメディアを使った幅広い広報を工夫していきたい。また、移住定住施策もセットで進めていき、若い子育て世代の移住定住を促進することで少子化対策の効果も上がっていくようにしなければならぬと考えている。

水道料金問題

真壁容子議員

Q 低い方に合わせる影響額は

A 約2600万円の減

町長



今回の改定で、西伯地域内の格差は解消されたとはいえ、西伯・会見の料金統合が課題にあがっている。統合を理由の引き上げは納得がいかないという会見地域の住民の声は当然だ。同時に「いつまで格差を続けるのか」と高料金を負担している西伯地域の声ももつともだ。

今回の改定で、西伯地域の料金引き下げで会見地域に合わせることを求める。

西伯地区の料金体系を会見地区に合わせることに影響額は年間2600万円の減額と試算している。

町長 2ヶ月で40m使用の一般家庭で合併後9年6カ月の負担総額は、西伯上水29万8840円、会見上水22万6903円、西伯簡水33万6756円となっている。

合併後料金統一が大きな町の課題になっている事情を国・県にも理解をいただきたい。

本年度少子化・人口減少対策に我が町でも初めて体系的に取り組むこととなった。原因やニーズの見定め方、施策の目標、運用に関する南部町独自の工夫等を問う。

全体的な運用面では、説明会やホーム



すみれ保育園用地造成現場

合併後の負担の比較を求め、西伯の料金体系を会見にあわせる影響額はいくらか問う。



行政調査報告

7月1日から3日まで福祉、人口問題、地域振興の事例視察を目的として北海道の美瑛町、東川町、滝川市の行政調査を行いました。

美瑛町



《人口 10,693人 面積 677.16Km²》

近年、町の基幹産業である農業の畑作地帯が織りなす農村景観が「丘の町びえい」として注目を集め、年間150万人の観光客が訪れる町であった。

少子化対策

- 小学校入学時に学用品、中学校入学時に指定の制服及びジャージ各1組を贈呈。
- 15歳になった年度末までを対象に、医療費（通院・入院）の全額助成を行う。
- 学校給食の無償化など子育て世代を支援。

地域おこしとしての介護事業

- 町内を4圏域に分けて、地域密着型サービスの整備。今年度開設の小規模多機能型居宅介護施設には、地域交流室や託児スペースなどを配置して、地域サロン機能を持たせる。

東川町



《人口 7,803人 面積 247.06Km²》

北海道のほぼ中央に位置し、「写真の町びがしかわ」をキャッチフレーズに「写真甲子園」には全国から多くの高校生が参加している。特色ある人口施策を次々と実施し北海道でも少ない人口増加自治体となっている。

若者定住施策

- マイホーム建築支援事業として、町が緑を生かした宅地を造成。「東川風住宅」の認定を受けた住宅に対して補助
- 賃貸共同住宅建設等支援事業として、若者移住ニーズに応えるため、民間アパート建築及び既存アパートの低家賃化を推進。
- 婚姻届・出産届に魅力ある町のオリジナルの台紙を採用。

地域振興

- 木工業の地場産業の発展施策として、「生まれてくれてありがとう」の思いを託した世界でたった一つの椅子をプレゼント。
- 東アジア地域交流促進協議会事業として、台湾、韓国、中国、タイなど発展著しい東アジアの学生を町内の専門学校空き教室や学生寮を活用して受け入れ。

滝川市



《人口 42,163人 面積 115.82Km²》

石狩川と空知川に挟まれた平野部に位置し、土地はおおむね平坦で、河岸段丘の平盤大地が東側の丘陵地帯に続いている。

農業施策で6次産業化の推進

- 滝川ならではの特色ある農産物のブランド化を進めるため、「滝川地産地消ふるさとづくり協議会」と連携をし、農産物の直売イベントの開催や親子で参加する収穫体験や料理教室などを開催。
- また、地産地消に積極的に取り組む飲食店や加工業者などを「たきかわ地産地消認定店」として認定し、地元食材の一層の利用拡大を図る施策を実施。
- 農産物の生産から商品化までの6次産業化を支援し、農園食堂や農産加工グループも年々増加。

議会活動日誌

5月	
日	会議・行事
1	南部老人クラブ連合会総会
7	米子市議会事務局視察受け入れ
8	すみれ保育園移転新築に伴う意見交換
9	鳥取県町村議会事務協議会役員会
13	松戸市行政視察受け入れ
14	第1回南部町人権会議役員会
15	鳥取県町村議会事務協議会総会
19	南部町人権会議総会
21	なんぶSANチャンネル総会
23	全員協議会、議会改革調査特別委員会、南部町商工会総会
24	会見小学校運動会
25	会見第二小学校運動会

6月	
日	会議・行事
26	議会運営委員会、西部広域行政管理局協議会臨時会
27-28	第39回町村議会議長・副議長研修会
28	シルバー人材センター総会
29	南部町大規模太陽光発電施設竣工式
9	南部・伯耆二町交流ランドゴルフ大会
12	老人クラブ連合会健康スポーツ大会
13-20	6月定例議会
21	西伯郡郡民体育大会陸上競技の部
23	交流の館H.I.N.T.オーブリングセレモニー
28	老人クラブ連合会女性部ランド・ゴルフ大会
30	鳥取県町村議会議長会定期総会

7月	
日	会議・行事
1-3	議会地方行政調査
7	コートジボワール行政視察受け入れ、広報調査特別委員会
9	羽村市行政視察受け入れ
15	広報調査特別委員会
17-18	森林環境保全創設全国大会
20	原水爆禁止国民平和大行進
22	西部議長会臨時総会、南部町農業委員会
25	西部議長会正副議長局長研修会
27	西伯郡郡民体育大会水泳競技の部
28	鳥取県反核・平和の火リレー

関連法の条例提案はいつか

A 園児の募集まじっく



亀尾 3月議会答弁で町長は、

保育の水準を保ち、民営化は進めないと明言した。国が計画している子ども子育て支援法での本町の対応を問う。

① 改築のすみれ保育園は、認定子ども園にする考えと聞くが他の3園との違いはどうか。

② 国の公定価格が変わっても保育料は変わらないのか。

③ 学童保育の対象を拡げる考えはないのか。

④ 新制度の周知の方法はどうか。

町長

⑤ 関連の町条例はいつ提案されるのか。

① 法律上は他の園と同じ児童福祉法に位置付けられることになる。認定子ども園となれば幼稚園機能も併せ持つことになり、保育に欠けない子どもを受け入れも出来る事になる。

② 国の基準を参考にしながら、世帯の所得状況、その他事情を勘案して検討したい。

③ 子ども子育て支援事業計画策定に向け、議論を行っており、また、放課後児童クラブのアンケートの結果で整備、実施の必要があるかを推計し検討したい。

④ 保護者の説明会の持ち方を工夫したい。広報による周知も考えている。

⑤ 関連の条例は、園児の募集までに提案したい。



すみれ保育園

陳情・請願の審査結果

●総務経済常任委員会

件名及び要旨	提出者(敬称略)	採択結果	可否の理由
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部執行委員長 本川博孝 南部町職員労働組合 執行委員長 泉 潤哉	全員一致採択	(賛成意見) ・国民世論でも集团的自衛権の件については異論が多い中で行使容認は拙速だ。 ・憲法重視すべき。 ・国民投票で憲法を変える動きもあるので、正当な方法で行うべき。 (反対意見) ・集团的自衛権は、抑止力のためのものと思う。 ・集团的自衛権については、「日本が世界に出ていくことができる国へ」ということもあると思う。 ・国会でも歯止めをかけると言っているので、防波堤的な要素と思う。
「海外で戦争する国」にする集团的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める陳情	鳥取県憲法会議代表者 浜田章作	賛成少数不採択	

●民生教育常任委員会

件名及び要旨	提出者(敬称略)	採択結果	可否の理由
請願第1号 さらなる年金削減の中止を求める請願	全日本年金者組合鳥取県西部支部 支部長 松本正孝 紹介議員 植田 均	賛成少数不採択	(賛成意見) 地域経済の活性化のためにも年金削減は実施すべきではない。 (反対意見) 特例水準の解消は当然。
請願第2号 「介護・医療総合確保法案」の撤回を求める請願	全日本年金者組合鳥取県西部支部 支部長 松本正孝 紹介議員 植田 均	賛成少数不採択	(賛成意見) 一人一人に必要な介護と給付が行き届かないといけない。 (反対意見) 要支援者には市町村事業になっても今のサービスは維持できる。
陳情第3号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出に関する陳情	鳥取県西伯郡南部町東町118-2 岡田恵子	全員一致採択	
陳情第6号 「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情について	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長 萩原耕三	全員一致採択	

なつかしの 我が校舎

山田 繁さん 談

小学校の思い出

私は昭和27年に入学をしました。今の団塊世代ですので、全校で120人くらいの生徒数であったと思います。写真の通り小さな学校で一学年1クラスでしたので、六年間過ごした同級生や先輩・後輩は今でも相談相手であり、私の支えとなっていました。

小学校では裏庭の景観から山水のような池と滑り台など遊び場で、早くから家（八金）を出て学校で遊ぶことが楽しみでした。

遠足は私の近く「金華山」に登ることが定番でした。私は帰りにそのまま家に帰ることが出来たので、同級生から羨ましく“さよなら”を言った思い出が一番に残っています。今では学校も牛舎になっていますが、昔の面影を通るたびにに見えるのは、幸せなことだと思っています。



東長田小学校

表紙写真

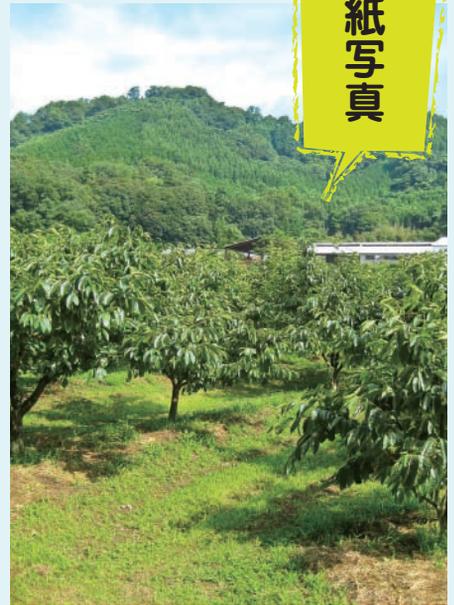
『緑が眩^{まぶ}しい 霜害の柿畑』

南部町の会見地域では果樹の生産が盛んです。中でも富有柿は生産量が平成23年度約3百トンで西日本一の生産量・出荷額を誇っており、山際や田園地帯の中に管理の行き届いた柿畑が広がっています。町のマスコットキャラクターの「ふーくん」・「ゆーちゃん」も、この町の代表的な特産品である富有柿にちなんだものです。

ところが、果実に育つ新芽が出始めた今年4月、近年まれにみる霜害が柿畑を襲いました。写真の畑の柿の木にも例年であればピンポン玉大の小さな柿の実がたくさんついていたはずでしたが、霜によって落ちてしまったために、ほとんど実がありません。

被害総額は約3千万円と試算されており、柿園経営への打撃や、今後の事業継続に大きな影を落とすこととなっています。

南部町では鳥取県とも協調しながら農家への支援策を打ち出しています。今後はより進んだ被害の防止支援や減収対策などで農家の生産意欲をできるだけ低下させないように、町の特産品を守っていく取り組みが求められています。



あとがき

◆連日の猛暑が続き、昨年多くの方が発症された熱中症が心配される時期を迎えました。

さて、6月議会には執行部提案の各議案のほかに、集団的自衛権の是非を巡る陳情が出され、白熱した論戦が戦われました。

南部町議会には議決権のない事項ではあるものの、全国民に多大な影響が及び、日本の今後の国としての方向性を定める重大事として、南部町議会の意思が問われたものでした。

審査の内容は本報に記載の通りでしたが、多くの議員が採決の直前まで悩んだ末、賛成5人、反対7人、棄権1人と僅差で不採択の結果となりました。短期間の定例議会ではありましたが、議員としての、議会採決に臨んでの一票の重みを感じさせられる議会となりました。

(景山)

